

《 損保9条の会 》

損保ジャパン9条たより

2019年2月12日-43号
「損保ジャパン9条の会」事務局
鈴木高雄宅
Tel&FAX 044-931-6464

11月23日 損保9条の会第15回講演会には156人が参加

—損保ジャパンからは19名が参加—

3000万人署名は12月末で1,102筆に到達

昨年11月23日に王子の北トピアで、講師に伊藤 真氏（弁護士、伊藤塾塾長）をむかえ、「日本国憲法の価値を考える」と題して第15回損保9条の会講演会が開催されました。講演会には会場定員ぎりぎりの156名（損保ジャパンからは19名）が結集し、参加者より出された質問、意見等にも丁寧に回答をいただき、充実した2時間でした。講演終了後の懇親会は9人の参加で、感想や近況報告など楽しいひとときとなりました。

3000万人署名のとりくみの現状は、損保ジャパン9条の会には昨年末までに1,102筆分が寄せられ、損保9条の会全体としては5000筆を目前にしています。3000万人の達成をめざし、みなさんのさらなるご協力をお願いします。

安倍首相の改憲への執念は全くゆるぎなし。野党共闘の前進と私たちの運動で、国会での改憲案提案を阻止しよう！

安倍首相は「改憲タカ派」の側近を配置し、昨年臨時国会での憲法審査会への自民党改憲案の提案・審議を狙いましたが、下村博文憲法改正推進部長が野党に対して「職場放棄」との暴言を吐いたことが引き金となり、官邸主導で会長職権による憲法審査会開催を強行したことに野党共闘と世論の批判が広がり、臨時国会での憲法審査会開催・提案は断念しました。

しかし、安倍首相は1月4日の年頭会見いらい改憲発言を繰り返し、1月28日に開会された通常国会の施政方針演説の「終わりに」の部分で、「憲法は、国の理想を語るもの、次の時代への道しるべであります。私たちが子や孫の世代のために、日本をどのような国にしているのか。大きな歴史の転換点にあたって、この国の未来をしっかりと示していく。国会の憲法審査会の場において、各党の議論が深められることを期待します」と、あらためて国会における改憲論議を呼びかました。憲法尊重擁護義務（憲法99条）が課せられている総理自らが改憲論議を国会に求めることは、立憲主義の否定であり決して許されません。安倍政権による国会での改憲案提案の阻止に向けて、3000万人署名などの運動をさらに大きく広げていきましょう。

2019年憲法集会

「平和といのちと人権を！」

時：5月3日

場所：東京は有明防災公園
(全国各地でも開催されます)

3000万署名を前進させ、安倍9条改憲を阻止するために